

**(議題 1) 第 5 回の審議内容のまとめ**



■第5回荒瀬ダム撤去フォローアップ専門委員会における意見等への対応状況

(1) 水質調査(濁度)

No.	項目	該当ページ	発言委員	意見(要旨)	事務局回答(要旨)	現在の対応状況等
1	濁度とSSの相関について	議事録 P.8	大本委員	SSと濁度の相関を見ると、バラつきがかなり大きくなっているが、 <b>粒度組成を仕分けした上でやると、もう少し相関が高くなる</b> と思う。	出水時の粒度分布については確認している。また、今後に予定しているSS10~100mg/Lの採水時にも粒度分布の調査を行うので、次回に報告したい。	【説明資料 P.25 及び P.26 参照】 今回、濁度-SSの回帰式について報告する。

(5) 植物調査

No.	項目	該当ページ	発言委員	意見(要旨)	事務局回答(要旨)	現在の対応状況等
7	水位低下後の調査	議事録 P.13	佐藤委員	湛水状態が長く続いた部分が地上に出てくる場合は、事後の変化が改変直後に劇的に起こる。そこで、27年度調査前の25年度に、 <b>植生調査等を中心とした調査を入れていただきたい</b> 。調査結果をどうこうということではなく、 <b>どういう変化が起こるかというデータを蓄積する</b> という意味でお願いしたい。	植生調査については、本年度調査を進めたい。	【説明資料 P.4 参照】 佐藤委員の助言を踏まえ、ベルトトランセクト調査を実施予定。今回、調査内容について説明する。

(6) 底生動物調査

No.	項目	該当ページ	発言委員	意見(要旨)	事務局回答(要旨)	現在の対応状況等
8	ウスイロオカチグサのモニタリング	議事録 P.13-14	西野委員	移植元で取り残された種があり、その後さらに世代交代するのか、再生産できるか等の確認のため、 <b>逐次調べていってほしい</b> 。 移植先では、瀬戸石ダム下流側にかなりの個体数を移したが、見つからない。これが本当にいなくなったのかどうかを確認したい。	重要な種の調査については、広い所で再調査を進めていきたい。	【別紙資料参照】 今回、調査結果を報告する。
		議事録 P.16	篠原委員長	今度、 <b>再調査の場合は広めに調査範囲を設定してほしい</b> 。生物はけっこう移動し自分が好きな所に定着するので、意外と違う場所に移動しているかもしれない。		

(8) データ

No.	項目	該当ページ	発言委員	意見(要旨)	事務局回答(要旨)	現在の対応状況等
11	データの構築体系	議事録 P.18	藤田委員	大事なのは、 <b>どういう種別のものを、どのように残しておくかの全体像を常に持っていて、時々修正をしてもいいが、そのような体系があると、この大規模プロジェクトを10年後、20年後に見たとき、次の人がどういう知見を使えるかということが非常に重要である</b> 。 例えば、冒頭に、一連の取り組みの時系列があって、何年に何をやった、何月に何をやったとあって、それからデータ集のベーシックなものは、その前後が全部積み重なっているイメージとか、まとめ方のフォーマットを共通化して一貫性を持たせると、後々いいと思う。	資料の整理の仕方については、お手元にご説明しているまとめでは、一部、以前のデータが示せていない部分もあるので、委員の御指導をいただきながら、引き続き検討したい。	【説明資料 P.5 参照】 次回委員会(平成26年5月に開催予定)で、データの構築体系案を報告する。
		議事録 P.18	篠原委員長	今までで初めての工事なので、多くの方がこの工事をやったときの資料が欲しい、 <b>どういうやり方をしたのだと、あるいはトラブルが起こったときにどうしたのだと、トラブルだけを集めたトラブル集を使ってどのように解決していったかとか、そういう資料集が最終的に必要になる</b> と思う。そういう意味で <b>今から資料をまとめていけばいい</b> 。私もお願いしたい。		

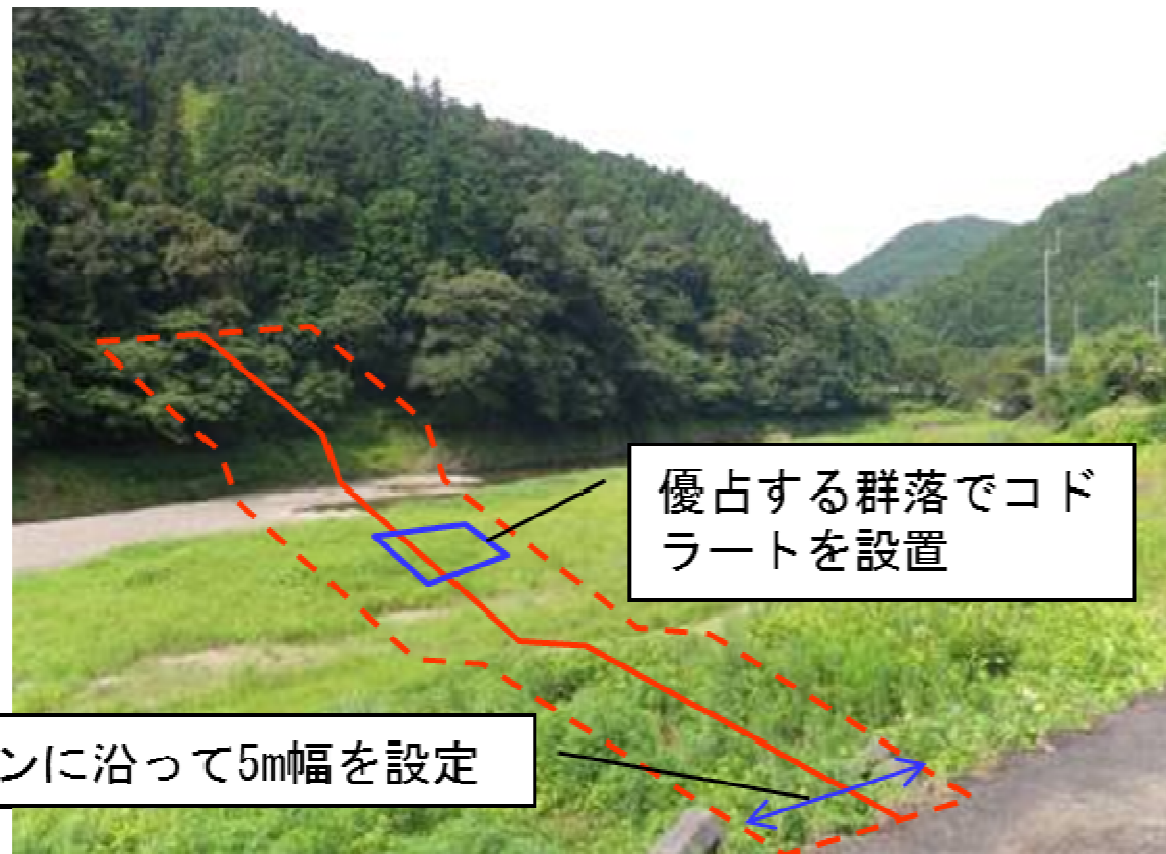
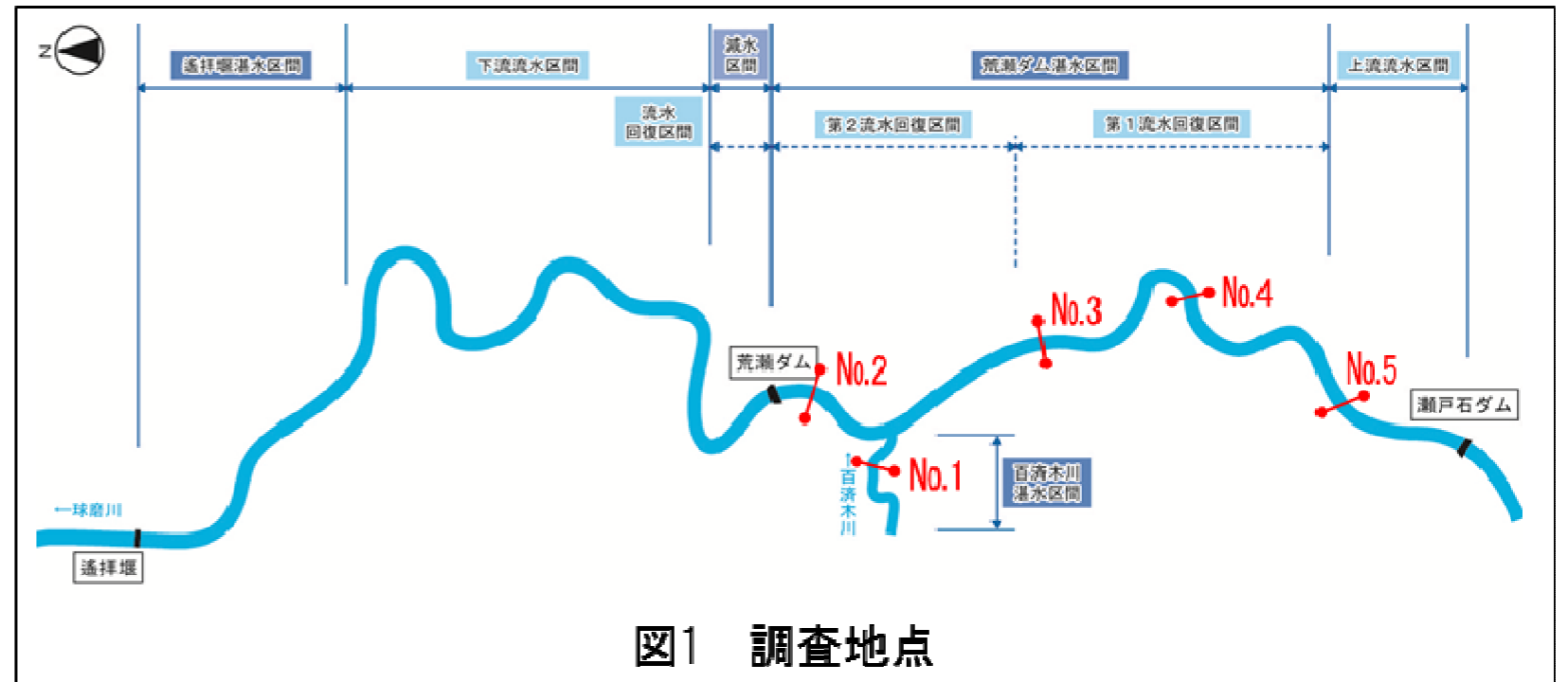
## ■ ベルトトランセクト調査の概要

目的: 水位低下後のダム上流域の植生の回復状況を把握するため。

調査時期: 11月(前回の平成23年と同時期)

調査地点: 5ライン(水際の植生の発達や石灰岩の露出等による重要種の回復が見込めるライン。図1参照)

調査方法: 図2参照



- ・川幅×5m内の群落別の分布範囲を調査
- ・優占する群落内にコドラートを設置し、各種の群度や被度、樹高等を記録する。コドラートの大きさは、草本類では2m×2m、木本類では5m×5mとする
- ・目分量で、種別のおおよその生育面積を百分率で記録する
- ・種別に、最も丈の長い個体の高さも記録する

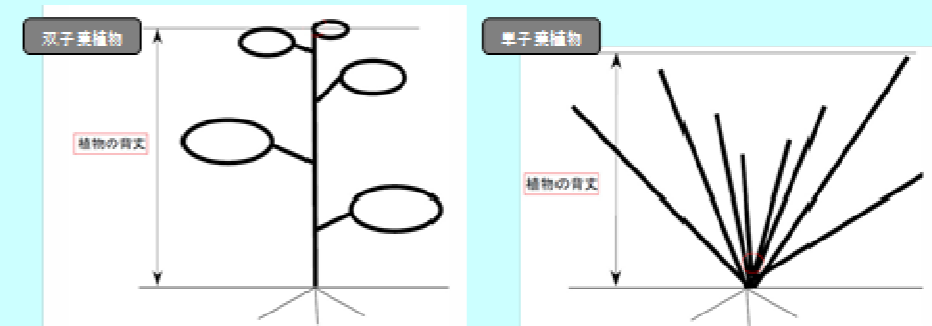


図2 ベルトトランセクト法

■ データの構築体系

委員会資料の整理

項目	第1回委員会 (H23.5.24)		第2回委員会 (H24.1.26)		第3回委員会 (H24.5.25)		第4回委員会 (H25.1.31)		第5回委員会 (H25.5.29)		第6回委員会 (H . . . )	
	開催回 議事録	資料名	説明資料	参考資料	説明資料	参考資料	説明資料	参考資料	説明資料	参考資料	説明資料	参考資料
流量	○	-	○	-	○	-	○	○	○	○	-	-
河川形状	○	○	○	○	○	○	-	-	○	○	-	-
水質 常時観測	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	-	-
水質 定期観測	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	-	-
水質 出水時調査	○	-	○	-	○	-	○	-	-	-	-	-
底質 粒度組成	○	○	-	-	○	○	○	○	○	○	-	-
鳥類	-	-	○	○	○	○	-	-	○	○	-	-
魚類	-	-	○	○	○	○	-	-	○	○	-	-
底生動物	○	○	-	-	○	○	○	○	○	○	-	-
重要種	-	-	-	-	-	-	-	-	○	-	-	-
支川連続性	○	-	-	-	○	-	-	-	-	-	-	-
植物相	-	-	○	○	○	○	-	-	-	-	-	-
付着藻類	○	○	○	○	○	○	-	-	○	○	-	-
河道内変化 (景観)	○	○	○	-	○	-	-	-	-	① ②	-	-
河川物理環境情報図	-	-	-	-	○	-	-	-	-	-	-	-
定期モニタリング	-	-	-	-	-	-	○	○	○	○	-	-
採餌場産卵場環境	-	-	-	-	-	-	-	-	○	○	-	-
生態系のとりまとめ	-	-	-	-	○	-	-	-	-	○	-	-
大気汚染粉じん等	-	-	-	-	○	-	○	○	○	○	-	-
騒音	-	-	-	-	○	-	○	○	○	○	-	-
振動	-	-	-	-	○	-	○	○	○	○	-	-
その他	-	○	○	○	-	○	-	-	-	-	-	-

地図から											
地点ごとのまとめ	縦断方向の 変化	遙拝堰	横石	下代瀬	坂本橋	道の駅坂本	葉木	百済木川 流入部	与奈久	西鎌瀬	瀬戸石ダム 下流

河道内の撮影	調査概要	河床材料	河川形状	支川合流点
--------	------	------	------	-------

熊本県企業局HP 随時更新

定点撮影

